

学 内 往 来

「上智大学社会福祉研究」第47号をお届けいたします。本号は、香取照幸教授の退任記念号となります。香取照幸教授、そして、岡知史教授、新藤こずえ准教授、鏑木奈津子准教授の論文を掲載いたしました。

本号が発刊される2023年3月にはCOVID-19のパンデミックより3年が経過します。今年度は、大学において授業は対面が基本となりました。大学には学生たち活気が戻ってまいりました。感染に関連して注意深く学生生活を送ることに慣れてきた様子がうかがえます。一方、コロナ禍によって導入されたオンライン授業についても、教育効果が高い要件を見極めながら継続する方向となっております。多くの学生がノートパソコンを携えて講義を受ける教室風景も見慣れたものとなり、はからずもICT化とペーパーレス化が進みました。2023年3月からはマスクの着用は個人の判断に委ねられるようになる等、日常の生活はさらに元に戻りつつあります。従来 of 生活の良さとCOVID-19により導入されたテクノロジーの活用や仕事の形態などの新たな様式が共存する生活そして社会が、今後いかに構築・展開され、「共生社会」に資するものとするのか、楽しみでもあります。

今年度、社会福祉学科では香取照幸教授が退任されます。後任として、2023年度より新任の教員が2名着任することとなっています。学生については、学部は65名が卒業、大学院は16名が修了します。学部学生は、2年生よりコロナとともに大学生生活を送ってきた学年です。病に起因する「痛み」を共有するという希有な体験をされたことが、今後の人生に生かされることを願っています。

編集代表 高山 恵理子